

令和2年度「学校評価」（朝来市立竹田小学校）

学校理念・教育目標

学校理念 「いのち輝かせ、夢と幸せをはぐむ学校づくり」
学校教育目標 「未来を切り拓く、こころ豊かで自立した児童の育成」 ～コミュニティ・スクールとして～

総合的な学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスにより、今年度は制約や制限が多かったが、コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)として、学校・家庭・地域・関係機関が連携協力し、変化に対応、創意工夫し、できる限りの取組を行って、学校教育目標の具現化を達成しているといえる。 ・生徒指導の充実、情報の把握と情報発信、ICTの活用、UD及び学び合いの授業づくりなどの今年度の成果を次年度も重点化・焦点化し取り組むべきである。 ・子どもが挨拶をよくするのは、子どもの見守り・まなび隊等をはじめ竹田の「ひと・こと・もの」が学校を支え応援しているからであろう。今後も竹田の学校・地域の文化・伝統として継続することが大切であろう。

項目	評価の観点	評価項目・取組内容	自己評価(%)				達成状況	学校の取り組み状況・今後の改善について	学校関係者評価(運営協議会の意見等)	
			4	3	2	1				
目0	学校教育目標 重点課題	○学校教育目標は、竹田小の子どもの実態に即して設定されている	47	53	0	0	B	○子ども一人一人を大切にし輝かせ個も伸ばすという視点に立ち、教職員が指導できている。 ・日頃から学校教育目標を意識した指導が続けられているが、児童にも発達段階に応じた意識化を図る。	◎自主的に学習に取り組めるように個々の特性に合わせて授業や自宅学習を提供して頂いたと思う。また、コロナ禍で「自主性」という力が身に付いたと感じる(O)	
		○児童・教職員のめざす目標としての意識化がなされている	29	65	6	0				
		○各職務分掌の計画、指導計画に基づき、達成に向けての具体的な取組が実施されている	28	82	0	0				
学1	地域とともにある学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信 ①-1家庭や地域の人々への情報発信をしている ・学校だより(月1回以上、隣保回覧、参観日、学級通信、ホームページ等)	93	7	0	0	A	◎修学旅行の様子配信(ブログ)は、保護者の方にとっても喜んでいただけた。 ◎情報発信(Webページ、ブログ、便り、授業参観、等)の充実を今後も継続。 ◎コロナ禍ではあったが、コミュニティスクールとして地域・家庭と連携して子どもを育てるという意識と教育活動の推進が図れた。さらなる工夫と継続が大切。 ◎全職員がQRコード付きの通信の発信に取り組むなど、一体化した取り組みができた。 ・今後もインターネット環境を生かし、家庭や地域への情報発信を継続する。 ・情報モラルや人権に配慮した発信ができるよう努める。	◎こちら(大人)から声をかけると子どもたちから自然に挨拶が返ってくる。大人も進んで挨拶をしたい。(F) ◎登下校のときに、マスクをつけ一列に並べている。感染症予防に対する子どもたちの意識が高い。3学期は特に挨拶をよくしている。(S) ◎授業参観では普段の学年ごとの取り組みや1/2成人式や先進的なICTなどの特徴がよくいかにされていることが理解できた。(M) ◎竹田っ子学び隊へ25名の参加があり、楽しく活動できている。地域の活動として継続したい。(Y) ◎運動会など学校行事をしても良かった。子どもたちのためによかった。(F) ◎今年度コロナの関係で子どもを中心にした連携が思うようにならず残念だった。5歳児にとって小学校は未知の世界なので、不安な期待感をもって入学してほしい。来年度は交流ができるようお願いする。(O)	
		オープンスクール(学校公開)など住民参加の教育活動の推進 ②-1家庭・地域・関係機関と連携、連動した教育活動が円滑に効果的に行われている	33	60	7	0				B/C
		②-2園・小・中の連携が進んでいる(研修、授業交流、保育交流等)	0	60	40	0				
学2	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり ③好ましい人間関係と豊かな集団生活が営まれる集団づくり、学級づくりを進めている ・ねらいを明確にした児童会活動(縦割り班活動)の充実 ・個を育てる指導と集団づくりの指導	31	69	0	0	B	◎職前などで情報共有もあり児童理解がよくなりました。 ◎子どもの情報把握と共有を今後も継続。(毎週の生徒指導委員会、毎月のいじめアンケートの実施と全教職員の情報共有) ◎児童会活動、縦割り班活動の充実が個と集団を育てるものとなっている。 ・アンケートに書かれた内容を丁寧に読み取るとともに、全職員で児童を見守り、多くの目で見守る変化をとらえられるよう努める。	◎日帰りで例年と異なる修学旅行だったが、担任の細やかな配慮もあり、思い出に残るものになった。子どもが家族にもたくさん話をしてくれた。実施していただいたことに感謝しかない。(O) ◎登下校をはじめ、地域の方の協力のおかげで安心して学校に通うことができている(O) ◎全国一短い夏休みで、先生方も子どもたちも本当によく頑張ったと思う。2学期スタートの気持ちの切り替えもうまくできたようだ。(S) ◎縦割り活動が取り入れられていて、高学年の自覚や他へのやさしい心も育てていると思う。(O) ◎コロナによる児童の在宅時間の増加により、身体的情動的な影響が指摘されており、日常の観察と検診などによる症状の有無確認に十分配慮することが大切である(F)	
		児童生徒の内面を図る指導の工夫 ④児童の内面を図る指導の工夫をしている ・いじめアンケート、作文、傾聴	53	40	7	0				B
		いじめ・不登校・問題行動・ネットトラブル等への適切な対応 ⑤いじめ・不登校・問題行動・ネットトラブル等への予防的指導と発生後の素早い対応と連携ができている。 ・生徒指導委員会(週1回)の定例化、校内委員会の開催 ・全職員による共通理解	63	37	0	0				
学3	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し ⑥危機管理に関する実践 ・マニュアルの点検と見直し、避難訓練、環境整備、安全点検の実施(月1回)	25	75	0	0	B/C	◎竹田の子どもをまもる会や学校運営協議会をはじめ、家庭や地域、関係機関と今後も連携した取り組みを継続したい。 ●避難訓練で地震を想定したものほがほしい。 ●関係機関と連携(消防署、警察等)した訓練の実施が必要。	◎避難訓練で地震を想定したものほがほしいとの意見について、26年前大震災を経験した県として、ぜひ実施をお願いしたい。(M) ◎見守り隊の活動が地域の一員として感謝する。地域の安全を守る大きな力だ(F) ◎子どもたち自身が見守られていると感じられるほど、登校に同行等よくしてもらっていると感じている(O)	
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施 ⑦地域や見守り隊等と連携し、地域課題に応じた安全な学校づくりをしている。(防災・防犯教育の実施)	44	32	24	0				
学4	特別支援教育	個に応じた指導 ⑧-1児童個々の教育的ニーズを把握し適切に対応している	44	56	0	0	B	◎教育支援委員会や特支コーディネーター会議、子どもを語る会など定期的・随時開催し、子どもの事実把握や指導支援がなされている。 ◎職員室で児童のことがよく語られる。自然な情報交換ができている。	◎子供の小学校での生活全般において教育的配慮がなされているようで安心だ(OA)	
		校内の指導体制 ⑧-2指導方法や指導体制の整備及び充実を図っている ・組織的な対応(校内委員会、教育支援委員会の充実) ・教育相談の充実・教職員個々の専門性の向上・個別の指導計画の作成 ・通級指導教室との連携	50	50	0	0				
		インクルーシブ教育の推進 ⑧-3インクルーシブ教育の推進環境づくりを進めている ・全児童の理解と仲間づくり・交流及び共同学習・家庭、地域への啓発	25	69	6	0				
学5	あさごドリームアップ事業 特色ある学校づくり	⑨特色ある学校づくり ・事業の趣旨を把握し、特色ある学校づくりができた(等演奏体験)	7	93	0	0	B	◎コロナ禍でも一つの仕事を行うにも大変な苦労があったと思う。(O) ◎等演奏体験など、楽器に関わる機会は経験として将来に少なからずプラスになると思う。特色ある取り組みと言える。(M) ◎コロナ禍のため、食育に関する内容や、室内で密になる活動ができなかった。内容の検討が必要である。		
教1	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立ち情報活用能力育成を含めた授業改善、授業のUD化の推進 ⑩学習意欲を高める「わかる授業」「魅力ある授業」づくりができている。 ・体験的、問題解決的な学習の展開 ・意欲、関心を高める学習活動 ・書く活動の重視 ・学習規律の徹底 ・聴き合い・伝え合う指導の工夫 ・UDを生かした環境づくり	50	44	6	0	B	◎研修でペアによる深い学びなど具体的に取組まれているのがよかった。 ◎UDの視点を大切にしながら、「めあて」と「振り返り」、「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくりへの意識の醸成と研修が進んだように感じる。	◎交流授業の実施に支障をきたす状況が続くが、方法を工夫して豊かな体験の場を作り出してほしい(FY)	
		基礎基本の定着と個に応じた学習指導の充実 指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫 ⑪-1指導内容・指導方法の工夫改善・単元目標、毎時間の授業の目標、流れの明確化・構造化 ・基礎学力の定着 ・朝のドリルタイム ⑪-2過程や成果の評価を適切に行っている。	50	38	12	0				B
		⑪-3個に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図る ・新学習システム、兵庫型教科担任制の活用・補充学習	38	56	6	0				
教3	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫 ⑫道徳の時間の指導と評価の工夫ができている・授業公開 ・外部人材の活用 ・地域教材の活用 ・問題解決型学習 ・情報モラル	7	71	22	0	B	・評価をよりよい授業づくりに生かすことができるよう、授業研究を進める。		
教4	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善 ⑬全体計画に基づいてねらいを達成している ・探究・交流・表現活動の実施 ・外部人材や外部施設等の活用	21	64	15	0	B	◎できる範囲での交流や見学になっているが、活動内容を精選し、充実した学習になった		
課1	人権教育	人権尊重の精神の育成 ⑭-1自尊感情の育成を図っている・一人一人の活動の場、認められる場をつくる・基礎学力の充実 ・体験活動の活用	19	81	0	0	B	◎「人権の花」を育てる活動と感謝状表彰・手話教室(人権教室)の場が設定・実施できた。 ◎コロナ禍における人権教育、SNS等ネットにおける人権教育等、新たな課題と捉え、取組が進んだこと。 ◎手話体験がとてもよい人権学習となった。谷本さんのお話は児童によく響くものであった。	◎こども園でも、クッキングや外部から人を迎える活動を中止した。コロナ禍なので仕方がなかった。(O) ◎コロナ禍で以前できていた交流を自粛する傾向が続いている。学校と施設の交流は地域においてもとても大切な機会と考える。今後、感染症予防など安全を最優先にしながら実施可能な交流の方法を一層に模索していきたい(M)	
		⑭-2全教育活動を通して、自他のいのちを大切に人権意識の高揚を図る ・人権の視点を通しての教育活動	20	73	7	0				
		⑭-3人権尊重の学校文化を築く取組の充実を図る ・人権標語の取組・環境づくり・職員の人権感覚の向上	20	73	7	0				
課2	体験活動の充実	自然学校等を含めた体験活動の充実 ⑮ねらいと成果を明確にした活動を実施・自然学校 ・環境体験活動 ・福祉体験活動 ・施設、地域、こども園等との連携	20	73	7	0	B	◎例年とは違う形であったが、実施できたことは大変良かった。児童にとってもよい経験となった。 ◎修学旅行も例年とは違った開催となったようだが実施することで児童の大切な思い出となったようだ(M) ◎子どもたちが我慢させられていると感じることがないくらい、活動内容が充実していると感じた(O)		
課3	キャリア教育	進路選択能力の育成・社会的自立に必要な態度や能力の育成 ⑯全体計画、年間指導に基づき、キャリアノートを活用し、特別活動を要として横断的な取組を進めている。	29	44	29	0	B	◎集会「6年の話」の将来の夢はとても良い。 ◎発達段階に応じた指導がなされ、キャリアノート・バスポートが作成できている。		
他1	外国語教育	⑰英語に慣れ親しみ、英語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 ・ALTとHRTのチームティーチング・新教材の活用	21	64	15	0	B	●後任ALTの配置が遅れているので、フォニックス等の学習が遅れが出ている。 ◎日程の変更は成果、4月5月の臨時休業期間中の在宅勤務・年休等の取得促進も成果。 ●夏休休業日短縮・1学期終業式・2学期始業式の設定は適正だったのだろうか? ◎放課後の時間が有効に使え、学級事務などの処理がしやすい。	◎どうしようもないことではあるが、ALT配属の遅れがコロナの影響とのこと。大切な英語教育だけでなく、外国の方との交流や国際化をはぐくむ機会として早期の配属があればよいが。(M)	
		⑰-1よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育成している ・縦割り班活動・あいさつ運動・児童会活動 ・委員会活動・全校集会・児童朝会	56	44	0	0				
他2	勤務時間の適正化の推進	⑰-2心身ともに健康でワーク・ライフ・バランスのとれた充実した生活が送れるように働き方改革を推進する ・ノー残業デーの実施 ・定時退勤日の完全実施 ・記録簿及び時間申告表を活用した自身のタイムマネジメントの確立	25	56	13	6	B	◎今年度は、6年生が学校のお手本となるようなふるまいがしっかりできていると思う。普段の朝会の様子や朝会が終わった後の行動もしっかりと指導されている。		
		⑰-3クラブ活動	29	71	0	0				
他4	学級活動	⑰-4学級内の課題を大切に、児童自らが解決していくような指導に努めている	31	69	0	0	B	◎下校準備の指導、ただスピードを求めるだけでなく、どの学年においても忘れ物がないように丁寧な点検をさせることができている。		
		・朝、帰りの会の充実 ・生活のルール、授業ルールの徹底 ・話し合い活動 ・係活動								
その他、学校全体で気づかれた点、改善点への建設的な意見、次年度への提案、希望など学校づくりの一員として自由に記述してください。 ○給食中の音楽や心が落ち着く言葉や児童会の放送が一年間継続されたのがよかった。 ●掃除のできない子が多い。かなり細かく指導したが長続きしない。								◎地域全体で子どもたちに対して「おはよう」「こんにちは」と気軽に挨拶ができるような取り組みができればと思う(F) ◎竹田の歴史・文化・昔の人々の暮らしに関する資料が展示できないだろうか。(地域の人の協力で行う)(F)		